

# 権現沢

一九八〇年九月二十一日

## ◆天気(晴)

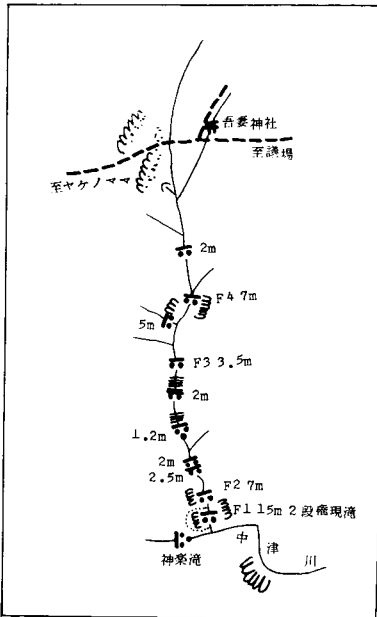
中津川沿いの登山道を終点まで歩いてから沢に入る。権現沢出合には九時〇五分到着。途中へつりに失敗して三人共ずぶぬれとなる。

権現沢に入る前にちよつと寄り道して神楽滝を見てきた。九時二五分権現沢廻行開始。出合すぐの権現滝は二段になっているが、その下段は右岸から捲き、上段は直登する。沢がS字状にまがりその先にF2七段。左岸よりを直登する。その先しばらくは小滝やナメが次々に現われる。F3三・五段、これは中間がどんぶりのようにえぐれていておもしろい滝であった。左からの小沢二つを過ぎF4七段。昼食をとってから右岸を捲く。この滝の上は沢がくずれた岩におおわれていて、右岸にはガレ場がある。すぐ登山道に出る。この先一〇分程登るが沢もつまらなくなり引き返す。

吾妻神社まで散策するつもりでヤケノママ方面に歩く



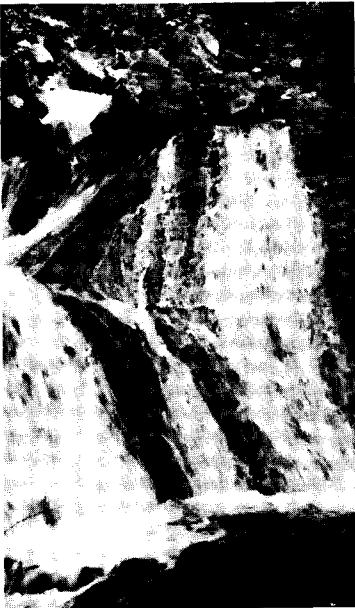
唐松川の廻行



権現沢(作図)



権現沢・権現滝



権現沢・F3

が、神社が見つからないので引き返す。なんとすぐ反対方向にあった。地図の位置と若干違うようだ。

(記：)

(タイム)

中津川入谷七・四五―権現沢出合九・二五―登山道一  
一・一〇

## 中の沢

一九七九年七月二十一日

五・一五沢に入る。天気は曇りがちである。今年は梅雨明けが遅い模様。夏の沢登りにしては少々涼しい。沢は水あかが多く少々滑りやすい。標高差が約千メートルあるので、期待しての遡行である。

五・四二F1に出会う。六メートルのナメ滝、最初にしてはまあまああつた滝。ナメが断続的に現われる。ナメが多いようだ。六・二七中津川方面に行く登山道(立派な橋)をくぐる。一〇分後中津川から水の受入口へつく。トンネルでぶちぬいて水を流してきている。水量は結構多い。近くに小屋が建っている。